

平成20年度 北陸地方整備局事業評価監視委員会に係る再評価対象事業一覧表（治水：河川事業 1 / 1）

番号	事業名称	区間	基本諸元	事業採択年度 及び経過年次	区分	進捗状況 完成堤防率 H19末 ----- 実施中の事業	社会経済情勢等の変化			費用対効果	今後の課題等	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針 (原案)
							過去の主要洪水及び 被害状況	氾濫が想定される 区域内の資産等					
								H12	H17				
1	荒川直轄河川改修事業	新潟県 村上市 胎内市 関川村 山形県 小国町	管理延長：38.55km 基本方針目標流量： 8,000m ³ /s 治水安全度：概ね1/100 整備計画目標流量： 7,500m ³ /s 治水安全度：概ね1/85	平成15年度 5年 H14.4：河川整備基本方針を策定 H16.3：河川整備計画を策定	D	約99% 堤防必要区間に対す る完成堤防の割合 ----- ・河道掘削 ・堤防強化対策	(花立地点流量) S42.8洪水約8,000m ³ /s (羽越水害) 死者行方不明者：90名 家屋被害：11,095棟 浸水面積：5,875ha H16.7洪水約4,000m ³ /s	人口 67.4 千人 世帯数 19.2 千世帯	人口 64.7 千人 世帯数 19.5 千世帯	総便益（B） 2,052(億円) 総費用（C） 679(億円) B/C=3.0	・河道断面不足 ・河口砂州 ・堤防強化対策	事業促進要望 荒川郷総合開発促進協議会(1市 1村) 新潟県岩船郡・村上市土木振興 会(1市2村) 新潟県 県北地方振興促進協議 会(5市2町2村)	事業を継続

※ 区分の内訳 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
D：再評価実施後一定期間経過している事業

B：事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業
E：その他

C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業

※ 主要洪水については基準点でのピーク流量を記載

平成20年度 第3回北陸地方整備局 事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表(港湾整備事業)

番号	事業名称	箇所	事業概要	事業採択年度	区分	進捗状況	社会情勢の変化等	事業の効果等	費用対効果	今後の取り組み	地元情勢	北陸地方整備局 対応方針(原案)
1	輪島港(輪島崎地区)避難港整備事業	石川県輪島市	荒天時において、輪島港周辺を航行する船舶の安全を確保するため、避泊水域を確保する防波堤を整備し、海難事故の回避による人命および船舶の安全を図る。	昭和53年度	D	事業進捗率: 75%(平成20年度)	輪島港沖を航行する船舶(100GT以上)は、13,000隻/年と多く、避難需要は変わらない。	・荒天時において小型船舶が安全に避泊を行うことが可能になり、海難事故による損失を回避できる。	【総便益】 1,513億円 【総費用】 701億円 B/C=2.16	計画的に整備を推進	【整備促進要望】 石川県 輪島市 輪島港マリンタウン活性化 推進協議会 能越商工観光懇談会 能登総合開発促進協議会	事業継続

区分の内訳 A:事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
 B:事業採択後10年間が経過している時点で継続中の事業
 C:採択前準備計画段階で5年間経過している事業
 D:再評価実施後一定期間経過している事業
 E:その他

平成20年度 第3回北陸地方整備局事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表(都市公園事業)

番号	事業名称	箇所名	事業の概要	計画面積 (ha)	H19末供 用面積 (ha)	誘致距離	誘致圏人 口(万人)	事業をとりまく 社会状況等	事業の効果等	事業の進捗状況	事業の状況 及び 今後の見通し	地方公共 団体の意見	対応方針 (原案)
1	国営越後丘陵 公園整備事業	新潟県 長岡市	北陸地方の広域レクリ エーション需要に対応す るため事業化された日本 海側唯一の国営公園で ある。 恵まれた自然環境を活か した“里”を広く人々に提 供することによって、ゆと りある未来へ向けての人 間性の回復と新たな文化 の育成に寄与することを 目標とし、整備を行うもの である。	400	140	100km	307	・国営公園事業の上 位計画としては、事業 に重大な影響を与え る変更はない。 ・公園周辺に観光施 設等の集積が進み、 相乗効果が期待でき る。 ・「新潟県長期総合計 画」及び「長岡市緑の 基本計画」に位置づ けられており、整備を 推進する必要がある。	・国際イベント等により広域レクリ エーション需要への対応が図られ ている。 ・冬季の貴重なレクリエーション施設 として地域の需要に応えている。 ・利用者が年々増加しており、特に 身障者の利用が大幅に増加してい る。 ・中越地震をはじめ広域防災拠点 として大きく貢献している。 ・地域と連携した運営管理や情報 発信により、ボランティア参加者の 増加、人材育成など、地域活性化 に寄与している。	進捗率76% ・健康ゾーン H15概成(119.6ha) ・野生ゾーン H19一部開園(20ha)	・健康ゾーン 施設のリニューアルにより魅力向上 ・野生ゾーン 拠点施設「里山自 然館」や園路・樹林 地などの整備を推進 ・文化ゾーン コスト削減を図りな がら整備を推進。	・北陸地域国営公 園建設推進協議 会(31市町村) 整備促進等を要 望	事業継続
				事業化 年度	総事業費 (億円)	H19まで の総事業 費(億円)	事業 進捗率						
				H元	570	433	76.0%						
				区分	B/C	総便益 (億円)	費用 (億円)						
			D	2.94	2,495	850							

- 区分 A: 事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業
 B: 事業採択後10年間を経過している時点で継続中の事業
 C: 採択前準備計画段階で5年間を経過している事業
 D: 再評価実施後一定期間を経過している事業
 E: その他

平成20年度 第3回北陸地方整備局事業評価監視委員会 再評価対象事業一覧表（道路事業）

No.	事業種別 ※1	事業名称	箇所名 (起終点)	事業の概要	事業延長 (km) ※2	区分 ※3	基準年	事業化 年度	事業をとりまく 社会状況等	事業の効果等	事業の進捗状況 残事業の内容	事業採択時より 再評価実施時までの 周辺環境変化等	事業の状況 及び 今後の見通し	地方公共 団体の意見	対応方針 (原案)
1	高	日本海沿岸東北自動車道(荒川～朝日)	新潟県村上市南新保～同県同市猿沢	高規格幹線道路網の形成、アクセス時間の短縮による物流の活性化・観光圏域の拡大、災害に強いネットワークの形成、第三次医療施設へのアクセス向上などを目的として、日本海沿岸東北自動車道の新潟県村上市南新保～同県同市猿沢間(L=20.4km)について整備を行うものである。	20.4 (20.4)	D (前回H15年度) 注)中条～朝日間で実施	H20	H10 (新直轄施工=H17)	・特定重要港湾および国際コンテナ航路の発着港湾である新潟港は、大連や釜山、上海などの東アジアや中国東北部からの貨物の玄関口として機能している。	・並行する国道7号の渋滞損失時間削減。 ・並行する国道7号の混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の改善。 ・バス路線の利便性向上。 ・新幹線駅へのアクセス向上。 ・空港へのアクセス向上。 ・特定重要港湾および国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上。 ・農林水産品の流通の利便性向上。 ・隣接した日常活動圏中心都市間を最短で連絡する路線を構成。 ・主要な観光地へのアクセス向上。 ・三次医療施設へのアクセス向上。 ・死傷事故件数の減少。 ・緊急輸送道路の位置づけ。 ・CO2、NO2、SPMの排出量削減。	＜残事業の内容＞ ・村上市南新保(事業区間起点)～同市猿沢(同終点)区間(L=20.4km)の工事。	・「日本海東北自動車道(新潟空港IC～中条IC)」暫定2車線供用。 ・「国道7号中条黒川バイパス」供用。 ・「国道345号瀬波温泉トンネル」供用。	・用地買収は平成22年度で全区間完了する予定。 ・平成20年代前半の2車線供用を目指して事業を推進。	・日本海沿岸東北自動車道建設促進村上圏期成同盟会(村上市、関川村、粟島浦村) 整備促進を要望	事業継続
					用地着手年度	工事着手年度	供用済延長(km)※4	全体事業費(億円)							
					H12	H13	0	753							
					事業進捗率※5	費用便益比B/C※6	総便益(億円)※7	総費用(億円)※7							
					76.2% (99.9%)	1.9 (6.3)	1,509 (1,509)	812 (241)							
2	2次	国道8号糸魚川東バイパス	新潟県糸魚川市間脇～同県同市押上	交通渋滞の解消、地域ネットワークの充実強化、沿道環境の改善などを目的とし、国道8号の新潟県糸魚川市間脇～同県同市押上間(L=6.9km)についてバイパス整備を行うものである。	事業延長(km) ※2	区分 ※3	基準年	事業化年度	・糸魚川総合病院が、「第4次新潟県地域保健計画」より新潟県糸魚川市で唯一の第二次医療施設となっている。 ・国道8号は、糸魚川地域、能生地域、青海地域を連絡する主軸であり、「新市将来ビジョン」でも、交通ネットワークプロジェクトとして渋滞解消が位置づけられている。	・現道等の渋滞損失時間を削減。 ・現道等の混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の改善。 ・バス路線の利便性向上。 ・新幹線駅および特急停車駅へのアクセス向上。 ・市街地再開発事業の支援。 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上。 ・主要な観光地へのアクセス向上。 ・CO2、NO2、SPMの排出量削減。 ・踏切横断解消により、JR北陸本線の山側地区から上越・新潟方面、富山方面へのアクセス向上。	＜残事業の内容＞ ・全線の用地買収及び工事。	・糸魚川総合病院、糸魚川浄化センター、糸魚川市多目的交流センターなどの公共施設や工場の立地。 ・大和川～押上間については平成20年代中期の暫定2車線供用に向け事業推進。 ・間脇～梶屋敷間の完成2車線供用については、交通状況を勘案しつつ、平成30年代前半完成を目途に事業推進。 ・梶屋敷～押上間の4車線化については、その後の交通状況を勘案しつつ必要性を検討。	・糸魚川国道8号整備促進期成同盟会(上越地方22市町村) ・糸魚川市長 糸魚川市：糸魚川市議会 整備促進を要望	事業継続	
					6.9 (6.9)	D (前回H15年度)	H20	H元							
					用地着手年度	工事着手年度	供用済延長(km)※4	全体事業費(億円)							
					H4	H10	0	360							
					53% (87%)	1.2 (3.3)	437 (437)	369 (133)							

No.	事業種別 ※1	事業名称	箇所名 (起終点)	事業の概要	事業延長 (km) ※2	区分 ※3	基準年	事業化 年度	事業をとりまく 社会状況等	事業の効果等	事業の進捗状況 残事業の内容	事業採択時より 再評価実施時までの 周辺環境変化等	事業の状況 及び 今後の見通し	地方公共 団体の意見	対応方針 (原案)
3	2次	国道8号 魚津滑川 バイパス	富山県魚 津市住吉 ～同県滑 川市稲泉	交通渋滞の解 消、幹線ネット ワークの充実強 化、沿道環境の 改善などを目的 として、国道8 号の富山県魚津 市住吉～同県滑 川市稲泉間につ いてバイパス整 備を行うもので ある。	7.4 (7.4)	D (前回H15年度)	H20	H元	・滑川市では人口・生産額 とも富山県平均伸び以上と なっている。 ・魚津市では、富山市から バイパスがつながり、工業 製品出荷額が上向きとなっ たが、人口の伸び悩みや商 業活動の低下が伺われる。	・現道等の渋滞損失時間を削減。 ・北陸新幹線および特急停車駅へのアクセ ス向上。 ・第三種空港へのアクセス向上。 ・特定重要港湾へのアクセス向上。 ・日常活動圏中心都市間を最短時間で連 絡。 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上。 ・主要な観光地へのアクセス向上。 ・三次医療施設へのアクセス向上。 ・並行する高速ネットワークの代替路線と して機能。 ・CO2、NO2、SPMの排出量削減。	<残事業の内容> ・完成4車線化 (2/4→4/4) L=5.5km	・当該路線の沿線や内 陸部に、新川文化ホー ル、魚津西部企業団地 の整備、工場の新設・ 増設。	・早期整備効果が 期待できる区間か ら優先して完成4 車線化に向け事業 推進。	・魚津市 ・滑川市 ・滑川商工会議所 ・魚津商工会議所 ・朝日滑川間国道 8号沿線議員連盟 ・朝日滑川間国 道・バイパス建設 促進期成同盟会 ・北信越市議会議 長会 ・富山県議会 整備促進を要望	事業継続
					用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 延長 (km)※4	全体 事業費 (億円)							
					H4	H5	7.4 (5.5)	360							
					事業 進捗率 ※5	費用 便益比 B/C※6	総便益 (億円) ※7	総費用 (億円) ※7							
				78.0% (100%)	1.2 (3.2)	551 (237)	461 (74)								
4	2次	国道17 号 六日町バ イパス	新潟県南 魚沼市竹 俣～同県 同市庄之 又	市街地部の交通 混雑の緩和、沿 道環境の改善、 市街地部におけ る死傷事故の低 減、救急医療体 制の支援などを 目的として、国 道17号の新潟 県南魚沼市竹俣 ～同県同市庄之 又(L=5.1km)に ついてバイパス 整備を行うもの である。	事業延長 (km) ※2	区分 ※3	基準年	事業化年度	・南魚沼市都市計画マス タープラン(H19.3策定)で は、六日町バイパスは「広 域交通の軸」として位置づ けられている。また、当該 路線沿道(余川IC(仮称) ～六日町IC付近)を新たな 「広域交流拠点ゾーン」と して、流通系業務拠点・高 度情報産業拠点としての育 成を図るとともに、既存の 工業・準工業地域において は当該路線の進捗に合わ せ、環境に配慮した工業地 域づくりを目指している。	・現道等の渋滞損失時間を削減。 ・主要な観光地へのアクセス向上。 ・三次医療施設へのアクセス向上。 ・現道等の騒音低減。 ・関連する大規模道路事業との一体的整備 で、十日町生活圏、南魚沼生活圏の地域活 性化促進、圏域形成。 ・死傷事故件数の低減。	<残事業の内容> ・用地買収済区間 においては2箇所 の埋蔵文化財調査 (余川中道遺跡、 藤塚遺跡)。 ・用地買収及び工 事。	・第三次救急医療機関 となる「魚沼基幹病院 (仮称)」が平成27 年に開院を目指してい る。	・既供用区間の隣 接区間である南魚 沼市小栗山地区先 (L=0.7km)を平 成21年度に暫定 2車線供用予定。 ・その後、用地買 収、改良工事を進 め、平成20年代 半ばの全線暫定2 車線供用、及び平 成30年代初頭の 全線完成4車線供 用を目的。	・中越地区国道事 業促進協議会(長 岡市、柏崎市、小 千谷市、湯沢町、 南魚沼市、他8市 町村) ・南魚沼市町会 (南魚沼市、湯沢 町) ・新潟県南魚沼市 長 整備促進を要望	事業継続
					5.1 (5.1)	D (前回H15年度)	H20	H6							
					用地 着手 年度	工事 着手 年度	供用済 延長 (km)※4	全体 事業費 (億円)							
					H10	H12	0 (0.6)	340							
				事業 進捗率 ※5	費用 便益比 B/C※6	総便益 (億円) ※7	総費用 (億円) ※7								
				41.4% (61.8%)	1.3 (2.4)	417 (406)	320 (166)								

※1. 【事業種別】 高：高規格、地高：地域高規格、1次：一般1次改築、2次：一般2次改築

※2. 【事業延長】 上段：総延長、下段：()内書きで事業評価対象延長

※3. 【区分】 A：事業採択後5年間を経過した後も未着工の事業 D：再評価実施後一定期間を経過している事業
B：事業採択後10年間を経過している時点で継続中の事業 E：その他
C：採択前準備計画段階で5年間を経過している事業

※4. 【供用済延長】 上段：供用済延長、下段：()内書きで暫定供用延長

※5. 【事業進捗率】 平成19年度末現在の事業費による進捗率(事業費ベース)
下段：()用地進捗率

※6. 【費用便益比】 (総便益) / (総費用) 上段：事業全体 下段：() 残事業

※7. 【総費用・総便益】 上段：事業全体 下段：() 残事業